別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)		商工観光課(商工労政担当)					
事務事業名		商工業振興	興事業		事業番号	10174	
重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託	

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-8 商工業の振興
旭東体系との労運	施策目標	活力と賑わいのある商工業のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	関係団体・事業所・市民			
	対象者の今後の予想	中小企業の経営・販路が拡大される			
活動内容	市内中小企業の振興のため、中小企業振興基本条例の運営や、地元産品のPR、新製品等の開発 や販路開拓を行う企業への支援を行う。				
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)					
意 図	地元産品のPR活動を行うことにより、地元企業産品の販路拡大や地元経済の活性化が図られる。 新製品の開発経費等の補助を行うことにより、対象者への経費負担軽減が図られる。 商品化することにより、雇用の創出を図る。				
(どの様な成果を得ようとして いるのか)					

3 事務事業の現状

3 事務事業の現状									
	活動指標名	計画値 (H27)			実績値		目標値	目標値	
			H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	中小企業振興講演会等の回数等	3件	2件					3件	3件
2	補助件数	1件	1件					2件	3件
3									
4									
古坐弟 /一下町九町町)				H27	予算	H27決算		H28予算	
	事業費(=下記内訳計)				6,982		1,276		2,184
	国道支出金								
内	内 地方債								
訳	その他								
	一般財源			6,982 1,276			1,276	6 2,184	
人員	(人工)			0.08		0.08	8 0.08		
職員	人件費 (=人員(人工)×8,081千円))		646		646	6 646		
総事業費 (=事業費+職員人件費)			7,628 1,9		1,922		2,830		
単位コスト実績値 1 (=総事業費・成果実績値)					2,542		961		
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	実績値)			7,628		1,922		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■ 検討していない				
見直しの内容など					
今後の動向・市民ニーズなど	地元企業の商品のPR等による販路拡大により、事業所への経営支援が図られるため、今後も継続 予定である。				
5 事務事業の評価					
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない				
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	地元産品のPRにより、商品の販路拡大や地元経済の活性化が図られている。 新製品の開発意欲等の向上が図られている。				
	□可能 □一部可能 ■不可能				
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が単独で取り組むことは難しい。				
	□ある □一部ある ■ない				
・ 事業内容の中で、見直し ウ・ を行う必要はありますか	負担金・補助金については、必要に応じて見直す必要があるが、現時点では考えていない。				
	□ある ■一部ある □ない				
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	負担金・補助金については、事業内容を精査した上で、必要に応じて検討していく。				
	□ある □一部ある ■ない				
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	平成27年度は、首都圏でのPR事業も含めた事業であるが、平成28年度以降は分離し事業展開 する。				
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある				
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	ものづくり補助金については、一定の補助率・上限額を設定している。				
6 事務事業の今後の方[<u>向性</u>				
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了				

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート 【平成27年度】

主管課名(担当名)		商工観光課(商工労政担当)						
事務事業名		まちなか賑わいづくり事業			事業番号	12491		
重点プロジェクト	■該当	口非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-8 商工業の振興
旭東体系との労運	施策目標	活力と賑わいのある商工業のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	商店街・事業所・市民			
	対象者の今後の予想	商店街来客者が増加される			
活動内容	商店街を中心とした「まちなか」への賑わいを取り戻すため、商店街等へ短期的な振興支援を行い、 「まちなか」の活性化を目指す。				
(事業の概要や具体的な内容、方法など)					
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	商店街が実施する各種商店街イベントに対する財政的支援を行うことにより、商店街費用の軽減が図られ、また、イベントにより商店街の魅力発信・集客力の増加が期待できる。 コミュニティスペースの設置・運営することにより、交流の場としての提供や地域の情報発信などにより、商店街地域の活性化が図られる。				

3 事務事業の現状

<u>o</u> .	3 事務事業の規状								
	活動指標名	計画値		実績値					目標値
	7D 3W 1H 198 ***********************************	(H27)	H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	根室市商店街活性化支援事業補助 件数	4件	4件					6件	8件
2									
3									
4									
市米美 / _ 〒₹7 ↑ - 27 ↑ - 			H27 ⁻	予算	H27決算		H28予算		
	事業費(=下記内訳計)				7,515	6,932		7,415	
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他								
	一般財源			7,515 6,932		6,932	7,415		
人員	(人工)			0.04		0.04	4 0.04		
職員人件費 (=人員(人工)×8,081千円)			323		323	323			
総事業費 (=事業費+職員人件費)			7,838		7,255		7,738		
単位コスト実績値 1 (=総事業費・成果実績値)					1,959		1,813		
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果	:実績値)							

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	商店街等のイベント実施により、集客・売上の増加が見込まれるほか、コミュニティスペース(恋問)の提供により、交流の場や地域情報の発信など、商店街地域の活性化が図られるため、今後も継続する予定。
5 事務事業の評価	
	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	市民に対する商店街の魅力向上が図られている。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が単独で取り組むことは難しい。
	□ある ■一部ある □ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	まちなかサロン恋問については、費用対効果を考えると今後の施設の在り方を含め、幅広く関係機 関・団体に意見を聞き、対応が必要である。
	□ある ■一部ある □ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	実施時期・場所・内容により、事業費の抑制等検討する余地はある。
	□ある ■一部ある □ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	平成27年度を初年度としており、内容を精査した上で、移住・ふるさと納税など他の発信事業との整合性を整理する必要がある。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	PR展の性質上、受益者負担は生じない。
6 事務事業の今後の方	向性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)		商工観光課(商工労政担当)					
事務事業名		中小企業振興融資事業			事業番号	10171	
重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託	

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-8 商工業の振興
	施策目標	活力と賑わいのある商工業のまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	事業所				
v.1 sar	対象者の今後の予想	中小企業等の経営が拡大される				
活動内容	中小企業の運転・設備指揮の貸付、信用保証料の補助を行う。					
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)						
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	中小企業への運転・設備資金の円滑な融資が図られる。 また、信用保証料の補助を行うことにより中小企業への負担軽減が図られる。					

3 事務事業の現状

3 事務事業の現状									
活動指標名		計画値 (H27) H27	実績値				目標値	目標値	
			H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	融資信用保証料補助件数	3件	8件					5件	10件
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H27	H27予算 H27決		決算	H28予算		
				35,615	35,544		36,727		
国道支出金									
内地方債									
訳	訳その他		35,000		35,000		35,000		
一般財源			615		544		1,727		
人員(人工)			0.04		0.04		0.04		
職員人件費 (=人員(人工)×8,081千円)			323		323		323		
総事業費 (=事業費+職員人件費)			35,938		35,867		37,050		
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)			11,979		4,483				
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

(争削評価にかかけた味趣					
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない				
見直しの内容など					
今後の動向・市民ニーズなど	中小企業向けの低金利での融資借入が実行できるため、今後も継続予定である。				
5 事務事業の評価					
2 3 3 3 Place Million	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない				
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	低金利での融資借入の実施し、信用保証料の補助も行っており、融資借受者の負担が軽減されて いる。				
	□可能 □一部可能 ■不可能				
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	金融機関への基金積立及び金融機関の自己資金による協調融資につき、資金回収・諸手続を金融 機関にて実施。 事業そのものを市以外が単独で取り組むことは難しい。				
	□ある ■一部ある □ない				
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	現行の融資利率が、北海道等の同様の融資制度より高いため、融資利率の見直しについて金融機 関と調整する必要がある。				
	□ある □一部ある ■ない				
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	金融機関への基金積立により各金融機関の制度融資の運用を行っていることから、基金財源その ものの削減は困難である。				
	□ある □一部ある ■ない				
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	中小企業向け融資制度につき、他の事業との統合は馴染まない。				
	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある				
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	信用保証料の補助については、補助率及び上限額を設定している。				
6 事務事業の今後の方向性					
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了				